

病院事業の業務の状況

目 次

1	令和5年度事業の経営方針と予算の概要	228
(1)	経営方針及び事業計画	228
ア	経営方針	228
イ	事業計画	228
(2)	予算の概要	228
ア	収益的収支予算	228
イ	資本的収支予算	228
2	令和4年度下半期の業務の状況	229
(1)	事業の概要	229
(2)	経理の状況	229
ア	資産	229
イ	負債	229
ウ	収益及び費用	230
第1図	令和5年度鹿児島県病院事業会計予算の状況	231
別表1	病院別の現況と予定患者数	232
別表2	令和5年度予算の状況と前年度との比較	233
別表3	令和4年度下半期の利用状況	235
別表4	残高試算表（令和5年3月31日現在）	236

1 令和5年度事業の経営方針と予算の概要

(1) 経営方針及び事業計画

ア 経営方針

県立病院が持続可能な経営を確保し、地域に不足する医療や政策医療、高度・専門医療、救急医療などを提供するという重要な役割を継続的に担っていくために、「第三次中期事業計画」を令和5年3月に策定しました。

同計画に基づき、県立病院として、地域における役割を担いながら、医療機能の一層の充実・強化や経営の更なる安定化を目指します。

イ 事業計画

(ア) 施設の整備事業

大島病院の院内照明LED化工事や始良病院の管理外来棟、厨房サービス棟内装等リニューアル工事など、各病院の診療等に必要な施設を整備することとしています。

(イ) 医療機器等の整備事業

鹿屋医療センターのMRI装置、北薩病院のガンマカメラ更新など各病院の診療に必要な医療機器等を計画的に整備することとしています。

(ウ) 北薩病院改修事業

「県立北薩病院あり方検討委員会」の提言を受け、今後の病院運営に必要となる環境を整えるための改修工事を行うこととしています。

(エ) 予定患者数

令和5年度における県立病院の運営については、運用病床数を911床として、延べ患者数は入院患者267,553人、外来患者276,539人を予定しています。(別表1)

(2) 予算の概要

病院事業の予算は、事業活動に伴う収益的収支予算と施設整備のための資本的収支予算で構成されています。(別表2)

ア 収益的収支予算

収益は202億2,788万6千円、費用は222億5,493万8千円を予定していますが、収益の中には一般会計からの繰入金37億2,655万8千円が含まれています。(第1図)

イ 資本的収支予算

収入は15億3,302万3千円、支出は21億7,786万3千円を予定しています。

2 令和4年度下半期の業務の状況

(1) 事業の概要

令和4年度下半期（令和4年10月1日から令和5年3月31日まで）に県立病院を利用した延べ患者数は入院患者123,856人、外来患者124,628人で、前年度同期と比較すると、入院患者は3,942人減少し、外来患者も973人減少しています。（別表3）

(2) 経理の状況

令和4年度下半期における資産、負債、資本、収益及び費用の主な動きは、次のとおりです。

ア 資 産

(ア) 建物

大島病院の電話交換設備更新工事、北薩病院の建屋防水工事、始良病院病棟内装リニューアル工事等により2億5,605万2千円増加しました。

(イ) 器械備品

薩南病院を除く4病院での診療情報電子化システム更新や鹿屋医療センターにX線透視装置、大島病院にX線診断装置及びFPD長尺用撮影システム、薩南病院に超音波画像診断装置を整備するなど、診療に必要な各種医療機器等を整備したことにより9億8,701万6千円増加しましたが、各病院の器械備品を廃棄したこと等により2億2,620万7千円減少しましたので、差引き7億6,080万9千円増加しました。

(ウ) 長期貸付金

看護師等修学資金の貸付により600万円増加しましたが、返還金免除等により392万円減少しましたので、差引き208万円増加しました。

(エ) 基金

鹿児島県立病院事業基金利息により106万円増加しましたが、新薩南病院の整備費用、診療情報電子化システム更新費用を取り崩したことにより14億834万3千円減少しましたので、差引き14億728万円3千円減少しました。

イ 負 債

(ア) 企業債

過去に借り入れた企業債元金のうち2億8,713万3千円を償還し、新規に33億9,300万円借りましたので、差引き31億586万7千円増加しました。

(イ) 引当金

賞与引当金等の増加により1億8,060万5千円増加しました。

(ウ) 長期前受金

国庫補助金の受入等により3億8,041万6千円増加しました。

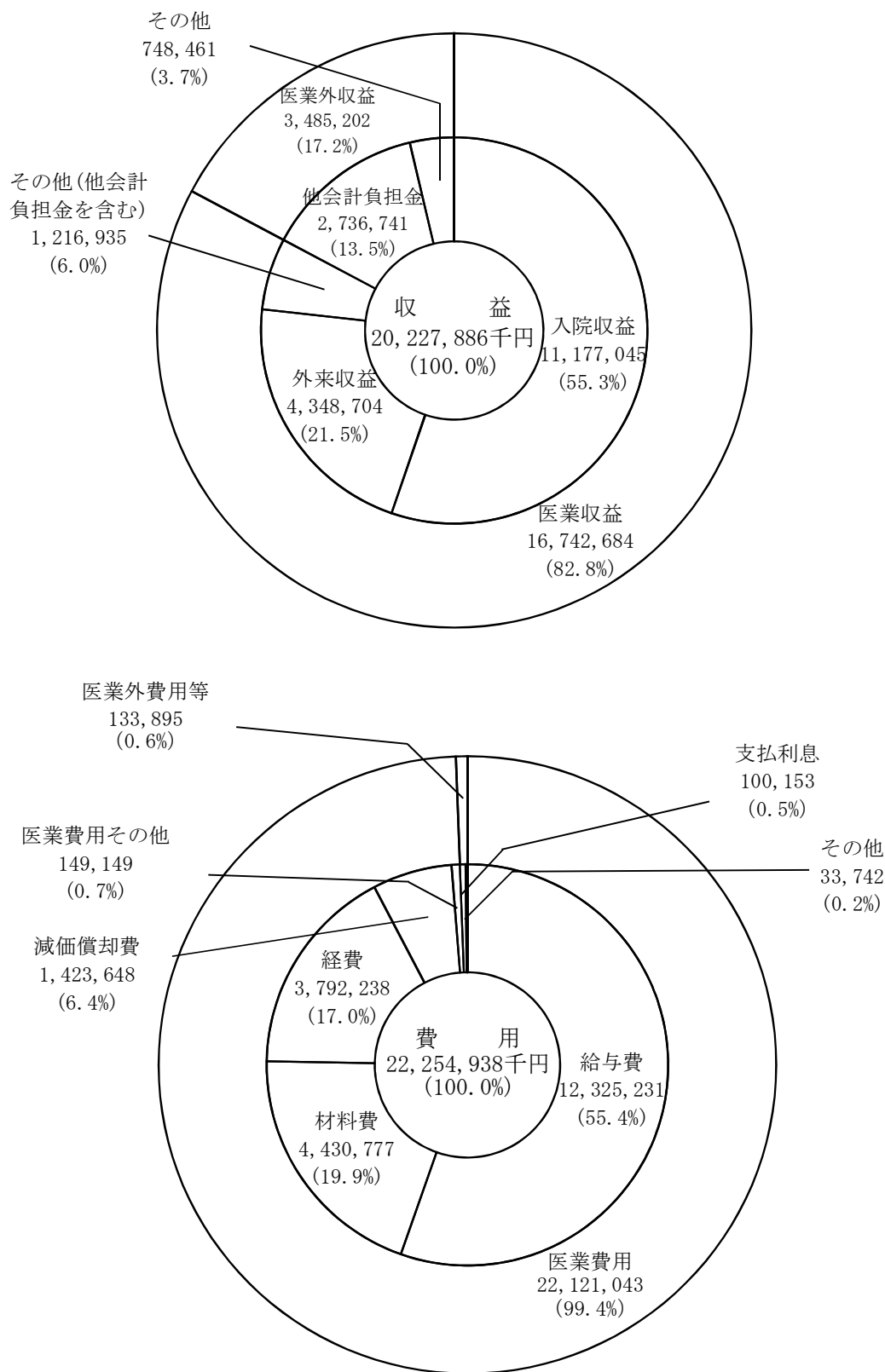
ウ 収益及び費用

収益は、入院外来収益等の医業収益が83億6,806万3千円、補助金等により取得した固定資産の減価償却見合い収益である長期前受金戻入等の医業外収益が20億9,418万3千円、特別利益が186万円、合計104億6,410万6千円増加しました。

また、費用は、給与費、材料費等の医業費用が109億8,317万8千円、支払利息等の医業外費用が11億6,257万5千円、合計121億4,575万3千円増加しました。

なお、令和5年3月31日現在の残高試算表は、別表4のとおりです。

第1図 令和5年度鹿児島県病院事業会計予算の状況
 (単位：千円, ()は構成比)



(注)端数処理のため、内訳の計は必ずしも一致しない。

別表1 病院別の現況と予定患者数

名 称	種別	所在地	病床数	診 療 科 目	予 定 患 者 数	
					入 院 患者数	外 来 患者数
県民健康プラザ 鹿屋医療センター	一般	鹿屋市	床 150	内科, 循環器内科, 外科, 消化器外科, 整形外科, 脳神経外科, 小児科, 産科, 婦人科, 耳鼻咽喉科, 放射線科, 麻酔科(12科)	人 39,564	人 49,346
県立大島病院	一般	奄美市	269	内科, 循環器内科, 消化器内科, 神経内科, 外科, 消化器外科, 整形外科, 脳神経外科, 精神科, 小児科, 皮膚科, 泌尿器科, 産婦人科, 眼科, 耳鼻咽喉科, 放射線科, 病理診断科, 救急科, 歯科口腔外科, 麻酔科(20科)	81,963	112,439
県立薩南病院	一般	南さつま市	150	内科, 循環器内科, 消化器内科, 血液内科, 人工透析内科, 外科, 消化器外科, 整形外科, 小児科, 放射線科, 産婦人科, 麻酔科(12科)	39,613	50,416
県立北薩病院	一般	伊佐市	75	内科, 呼吸器内科, 循環器内科, 消化器内科, 神経内科, 外科, 脳神経外科, 小児科, 放射線科(9科)	14,154	39,124
県立始良病院	精神	始良市	267	精神科, 歯科(2科)	92,259	25,214
合 計			911		267,553	276,539

※薩南病院については、令和5年5月8日の新薩南病院開院後の体制を記載している。

別表2 令和5年度予算の状況と前年度との比較

1 収益的収支

(1) 収益的収入

(単位:千円, %)

区 分	令和5年度		令和4年度		対前年度比較	
	金 額 (A)	構成比	金 額 (B)	構成比	増減額 (A)-(B)	比 率 (A)/(B)
医 業 収 益	16,742,684	82.8	16,454,293	82.8	288,391	101.8
入 院 収 益	11,177,045	55.3	11,311,070	56.9	△ 134,025	98.8
外 来 収 益	4,348,704	21.5	3,972,377	20.0	376,327	109.5
他 会 計 負 担 金	989,817	4.9	934,459	4.7	55,358	105.9
そ の 他 医 業 収 益	227,118	1.1	236,387	1.2	△ 9,269	96.1
医 業 外 収 益	3,485,202	17.2	3,407,804	17.2	77,398	102.3
受 取 利 息	23,566	0.1	24,223	0.1	△ 657	97.3
他 会 計 負 担 金	2,736,741	13.5	2,682,271	13.5	54,470	102.0
補 助 金	47,813	0.3	50,763	0.3	△ 2,950	94.2
長 期 前 受 金 戻 入	605,266	3.0	584,196	3.0	21,070	103.6
医 業 外 雑 収 益	71,816	0.4	66,351	0.3	5,465	108.2
特 別 利 益	0	0.0	0	0.0	0	-
そ の 他 特 別 利 益	0	0.0	0	0.0	0	-
合 計	20,227,886	100.0	19,862,097	100.0	365,789	101.8

(2) 収益的支出

(単位:千円, %)

区 分	令和5年度		令和4年度		対前年度比較	
	金 額 (A)	構成比	金 額 (B)	構成比	増減額 (A)-(B)	比 率 (A)/(B)
医 業 費 用	22,121,043	99.4	20,665,216	99.6	1,455,827	107.0
給 与 費	12,325,231	55.4	11,918,607	57.4	406,624	103.4
材 料 費	4,430,777	19.9	4,048,378	19.5	382,399	109.4
経 費	3,792,238	17.0	3,428,344	16.5	363,894	110.6
減 価 償 却 費	1,423,648	6.4	1,151,062	5.6	272,586	123.7
資 産 減 耗 費	47,147	0.2	14,702	0.1	32,445	320.7
研 究 研 修 費	102,002	0.5	104,123	0.5	△ 2,121	98.0
医 業 外 費 用	123,895	0.6	74,931	0.4	48,964	165.3
支 払 利 息	100,153	0.5	55,707	0.3	44,446	179.8
患 者 外 給 食 材 料 費	968	0.0	0	0.0	968	皆増
雑 損 失	4,750	0.0	3,000	0.0	1,750	158.3
消 費 税 及 び 地 方 消 費 税	18,024	0.1	16,224	0.1	1,800	111.1
特 別 損 失	0	0.0	0	0.0	0	-
過 年 度 損 益 修 正 損	0	0.0	0	0.0	0	-
予 備 費	10,000	0.0	10,000	0.0	0	100.0
合 計	22,254,938	100.0	20,750,147	100.0	1,504,791	107.3

(注)端数処理のため、内訳の計は必ずしも一致しない。

2 資本の収支

(1) 資本の収入

(単位:千円, %)

区 分	令和5年度		令和4年度		対前年度比較	
	金額 (A)	構成比	金額 (B)	構成比	増減額 (A)-(B)	比 率 (A)/(B)
企 業 債	832,000	54.3	5,262,000	65.5	△ 4,430,000	15.8
他 会 計 負 担 金	620,428	40.5	544,749	6.8	75,679	113.9
国 庫 補 助 金	0	0.0	12,843	0.2	△ 12,843	0.0
基 金 繰 入 金	80,595	5.3	2,211,364	27.5	△ 2,130,769	3.6
合 計	1,533,023	100.0	8,030,956	100.0	△ 6,497,933	19.1

(2) 資本の支出

(単位:千円, %)

区 分	令和5年度		令和4年度		対前年度比較	
	金額 (A)	構成比	金額 (B)	構成比	増減額 (A)-(B)	比 率 (A)/(B)
建 設 改 良 費	1,588,213	72.9	8,009,207	93.1	△ 6,420,994	19.8
病 院 整 備 費	918,195	42.2	4,763,498	55.4	△ 3,845,303	19.3
資 産 購 入 費	670,018	30.8	3,245,709	37.7	△ 2,575,691	20.6
企 業 債 償 還 金	570,566	26.2	572,734	6.7	△ 2,168	99.6
長 期 貸 付 金	18,760	0.9	15,760	0.2	3,000	119.0
基 金 積 立 金	324	0.0	667	0.0	△ 343	48.6
合 計	2,177,863	100.0	8,598,368	100.0	△ 6,420,505	25.3

別表3 令和4年度下半期の利用状況

(1) 入院患者の延べ数

(単位:人, %)

月別	病院別	鹿屋医療センター	大島病院	薩南病院	北薩病院	始良病院	合計
令和4年10月		3,299	6,088	2,418	1,500	7,394	20,699
11月		3,074	6,381	2,150	1,183	7,637	20,425
12月		3,203	6,262	2,150	1,512	7,298	20,425
令和5年1月		3,411	6,310	2,364	1,541	7,476	21,102
2月		3,469	6,162	2,476	1,598	7,664	21,369
3月		2,784	6,234	2,221	1,535	7,062	19,836
合計		19,240	37,437	13,779	8,869	44,531	123,856
1日平均患者数		106.3	206.8	76.1	49.0	246.0	684.3
前年度同期延患者数		17,876	38,702	15,940	10,186	45,094	127,798
前年度同期1日平均患者数		98.8	213.8	88.1	56.3	249.1	706.1
病床利用率		70.9	76.9	54.4	61.9	92.1	75.5

(注)入院診療日数 令和4年度下半期 181日

(2) 延外来患者数

(単位:人, %)

月別	病院別	鹿屋医療センター	大島病院	薩南病院	北薩病院	始良病院	合計
令和4年10月		4,039	8,665	3,207	2,458	2,172	20,541
11月		4,018	9,090	3,098	2,554	2,124	20,884
12月		4,069	9,091	3,078	2,740	2,267	21,245
令和5年1月		4,073	9,207	3,285	3,215	2,363	22,143
2月		3,849	8,749	3,265	2,786	1,979	20,628
3月		3,709	8,363	2,761	2,278	2,076	19,187
合計		23,757	53,165	18,694	16,031	12,981	124,628
1日平均患者数		201.3	450.6	158.4	135.9	110.0	1,056.2
前年度同期延患者数		23,297	54,267	18,972	16,351	12,714	125,601
前年度同期1日平均患者数		197.4	459.9	160.8	138.6	107.7	1,064.4
外来, 入院患者比率		123.5	142.0	135.7	180.8	29.2	100.6

(注) 1 外来診療日数 令和4年度下半期 118日

2 外来, 入院患者比率(%) = 外来患者の延べ数 / 入院患者の延べ数

3 診療報酬請求が診療日の属する月の翌月のため, 患者数及び診療日数は前月分である。

別表4 鹿児島県病院事業残高試算表

(令和5年3月31日現在)

(単位：円)

借方	勘定科目	貸方
577,987,121	土地	
35,597,033,670	建物	
	建物減価償却累計額	24,618,071,803
2,202,429,391	構築物	
	構築物減価償却累計額	1,655,496,572
10,911,792,129	器械備品	
	器械備品減価償却累計額	7,797,370,328
16,378,097	車両	
	車両減価償却累計額	14,057,762
	有形リース資産	
	有形リース資産減価償却累計額	
3,974,095,674	建設仮勘定	
163,819,653	無形固定資産	
2,003,489,000	投資有価証券	
69,610,000	長期貸付金	
3,110,833,609	基金	
15,416,731,379	現金・預金	
1,769,235,425	未収金	
	未収金貸倒引当金	2,291,879
25,398,130	貯蔵品	
0	前払金	
	その他流動資産	
75,838,833,278	(資産合計)	34,087,288,344
	企業債	6,985,820,020
	引当金	4,467,261,326
	未払金	2,060,646,821
	その他流動負債	101,573,047
	長期前受金	13,803,612,387
9,265,554,358	長期前受金収益化累計額	
9,265,554,358	(負債合計)	27,418,913,601
	資本金	27,078,811,357
	借入資本金	
	資本剰余金	583,196,587
5,574,314,748	繰越欠損金	
5,574,314,748	(資本合計)	27,662,007,944
	業収益	16,352,502,080
	業外収益	5,713,374,065
	特別利益	1,860,000
	(収益合計)	22,067,736,145
19,366,237,399	業費用	
1,191,006,251	業外費用	
0	特別損失	
20,557,243,650	(費用合計)	
111,235,946,034	合計	111,235,946,034

(注) この残高試算表は、当年度純利益を欠損金に振り替える前の段階で作成している。

工業用水道事業の業務の状況

目 次

1 令和5年度の事業概要と予算の概要	238
(1) 事業の概要	238
(2) 予算の概要	238
2 令和4年度下半期の業務の状況	240
(1) 事業の概要	240
(2) 経理の状況	240
別表1 残高試算表	242

1 令和5年度の事業概要と予算の概要

(1) 事業の概要

ア 鹿児島臨海第2期工業用水道事業

本事業は、鹿児島臨海工業用水道事業に代わり、2級河川万之瀬川を水源として鹿児島臨海工業地帯1号用地及び2号用地に立地する事業所に対し工業用水の供給を行うもので、令和5年度の業務予定量は、給水先事業所数43事業所、1日平均給水量16,600立方メートル、年間総給水量6,075,600立方メートルです。

本年度は、工業用水を安定的に確保するため、鹿児島市水道局及び河川管理者と共同で建設した川辺ダムの堰堤改良（長寿命化対策）費用として、174万円、鹿児島市水道局との共同施設である取水場、導水管の施設改良（設備調査）費用として、92万円、単独施設である配水管の施設改良（七ツ島橋水管橋改修工事）費用として、1,638万円を予定しています。

(2) 予算の概要

本事業の予算は、鹿児島臨海第2期工業用水道事業の活動等に係る収益的収支予算と同事業の施設整備や企業債の償還に係る資本的収支予算で構成され、令和5年度の収支予算は次表のとおりです。

ア 収益的收入及び支出

収 入

(単位:千円)

区 分	令和5年度	令和4年度		比較増減	
	当初予算(A)	当初予算(B)	最終予算(C)	(A)-(B)	(A)-(C)
第1款 工業用水道事業収益	394,964	410,671	410,671	△ 15,707	△ 15,707
第1項 営業収益	300,746	298,117	298,117	2,629	2,629
第2項 営業外収益	94,218	112,554	112,554	△ 18,336	△ 18,336
第3項 特別利益	0	0	0	0	0

支 出

(単位:千円)

区 分	令和5年度	令和4年度		比較増減	
	当初予算(A)	当初予算(B)	最終予算(C)	(A)-(B)	(A)-(C)
第1款 工業用水道事業費用	407,382	403,411	396,246	3,971	11,136
第1項 営業費用	393,882	384,371	374,038	9,511	19,844
第2項 営業外費用	13,500	19,040	19,652	△ 5,540	△ 6,152
第3項 特別損失	0	0	2,556	0	△ 2,556

イ 資本的收入及び支出

収 入

(単位:千円)

区 分	令和5年度	令和4年度		比較増減	
	当初予算(A)	当初予算(B)	最終予算(C)	(A)-(B)	(A)-(C)
第1款 資本的收入	0	0	0	0	0
第1項 企業債	0	0	0	0	0
第2項 固定資産売却代金	0	0	0	0	0

支 出

(単位:千円)

区 分	令和5年度	令和4年度		比較増減	
	当初予算(A)	当初予算(B)	最終予算(C)	(A)-(B)	(A)-(C)
第1款 資本的支出	185,622	124,602	125,192	61,020	60,430
第1項 建設改良費	19,032	16,660	16,299	2,372	2,733
第2項 企業債償還金	166,590	107,942	108,893	58,648	57,697
第3項 補助金返還金	0	0	0	0	0

2 令和4年度下半期の業務の状況

(1) 事業の概要

ア 鹿児島臨海第2期工業用水道事業

本事業は、鹿児島臨海工業地帯1号用地及び2号用地に立地する事業所に対し、万之瀬川を水源として工業用水を供給するとともに、1号用地にある七ツ島橋水管橋（右岸）の補修工事を行いました。

令和5年3月末日で給水先事業所数は43事業所、契約給水量は1日当たり16,618立方メートルです。

なお、下半期の月別給水先事業所数及び契約給水量は、次表のとおりです。

月 別 給 水 量

(単位：立方メートル)

月 別	給水先事業所数	1日の契約給水量	月給水量
令和4年10月	43	16,618	517,498
11月	43	16,618	501,835
12月	43	16,618	517,617
令和5年1月	43	16,618	516,163
2月	43	16,618	466,778
3月	43	16,618	516,108

(注) 給水先事業所数及び1日の契約給水量は、各月末日現在である。

(2) 経理の状況

令和4年度下半期における資産、負債、収益及び費用の主な動きは次のとおりです。

ア 資 産

建設仮勘定として整理していた資産の固定資産勘定への振替及び万之瀬川施設の水管橋補修工事等に伴う資産計上への振り替えを行いました。

(ア) 建物

建設仮勘定からの振替により119万2千円増加となりました。

(イ) 構築物

万之瀬川施設（単独施設）の水管橋補修工事に伴う固定資産計上及び建設仮勘定からの振替により2,188万円増加となりました。

(ウ) 機械及び装置

万之瀬川施設（共同施設）である万之瀬取水場の改修工事に伴う固定資産計上及び建設仮勘定からの振替により1,505万4千円増加となりました。

(エ) 建設仮勘定

川辺ダム長寿命化対策工事により68万5千円増加しましたが、固定資産勘定への振替により、2,498万2千円減少しましたので、差引き2,429万6千円減少となりました。

(オ) 水利権

減価償却により901万8千円減少しました。

イ 負債

(ア) 企業債

償還期限が1年以内に到来する次年度償還額1億6,658万9千円と令和4年度利率見直しに伴う償還額変更分95万1千円を固定負債から流動負債へ振り替えました。

また、流動負債に計上していた既存借入金については、約定に基づき5,891万9千円を償還しました。

(イ) 引当金

令和4年12月から令和5年3月分に対応する期末勤勉手当分216万6千円を賞与引当金及び法定福利費引当金に計上しました。

(ウ) 長期前受金

工事負担金で取得した水利権の減価償却等に伴い、1,803万8千円減少しました。

(エ) 長期前受金収益化累計額

令和4年度の減価償却に係る工事負担金相当額の収益化により9,490万5千円増加しました。

ウ 収益及び費用

収益は、給水収益等の営業収益が1億3,715万円、工事負担金で整備した固定資産の長期前受金の収益化等の営業外収益が5,670万7千円で、事業収益合計では1億9,385万7千円となりました。

また、費用は人件費、物件費、減価償却費、鹿児島市との共同施設の維持管理負担金等の営業費用が2億478万2千円、支払利息だけであった営業外費用が220万6千円で、固定資産確定に伴う過年度分減価償却費だけであった特別損失が255万6千円で、事業費用合計では2億954万4千円となりました。

なお、令和5年3月31日現在における残高試算表は、別表1のとおりです。

別表1 残高試算表

(令和5年3月31日現在)

(単位：円)

借 方	勘 定 科 目	貸 方
817,012,697	土 地	
342,426,499	建 物	
	建物減価償却累計額	130,804,439
6,761,989,333	構 築 物	
	構築物減価償却累計額	3,307,998,910
1,460,251,273	機 械 及 び 装 置	
	機械及び装置減価償却累計額	705,694,562
2,457,564	車 両 運 搬 具	
	車両運搬具減価償却累計額	1,180,953
8,694,614	工 具 器 具 及 び 備 品	
	工具器具及び備品減価償却累計額	3,501,406
26,774,182	建 設 仮 勘 定	
	水利権	
60,300	電 話 加 入 権	
1,264,593,507	預 金	
25,594,370	営 業 未 収 金	
	営業外未収金	
	未収消費税及び地方消費税還付金	
	前 払 金	
	仮払消費税及び地方消費税	
10,709,854,339	(資 産 合 計)	4,149,180,270
	企 業 債 (固 定 負 債)	2,783,256,355
	営 業 未 払 金	5,894,393
	そ の 他 流 動 負 債	1,074,440
	未払消費税及び地方消費税	8,237,600
	企 業 債 (流 動 負 債)	166,589,310
	引 当 金	2,166,000
	長 期 前 受 金	5,849,789,455
3,702,795,325	長期前受金収益化累計額	
3,702,795,325	(負 債 合 計)	8,817,007,553
	資 本 金	499,127,729
	工 事 負 担 金	820,449,325
	受 贈 財 産 評 価 額	1,743,126
	未 処 分 利 益 剰 余 金	74,938,865
	(資 本 合 計)	1,396,259,045
	営 業 収 益	276,582,910
	営 業 外 収 益	112,999,317
	特 別 利 益	
	(収 益 合 計)	389,582,227
332,331,286	営 業 費 用	
4,492,615	営 業 外 費 用	
2,555,530	特 別 損 失	
339,379,431	(費 用 合 計)	
14,752,029,095	合 計	14,752,029,095

(注) この残高試算表は、当年度純利益(又は純損失)を繰越利益剰余金(又は欠損金)に振り替える前の段階で作成している。